平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	金融論 (Money and Banking)			授業コード	E010951
担当教員名	卓　涓涓			科目ナンバリングコード	E20419
配当学年	2	開講期	後期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	「経済学入門」を履修済みであることが望ましいです。				
受講心得	積み重ねることが重要な分野であるため、毎回、復習を怠らず、特に、各単元ごとに示す練習問題を理解できるよう、相応の時間をかけ、復習することが求められます。				
教科書	教科書は使用しない。配付プリントにしたがって進める。授業中に、以下の参考書における該当箇所を指示する。				
参考文献及び指定図書	・池尾和人(2004)『エコノミクス　入門金融論』、ダイヤモンド社、ISBN 978-4-478-21044-4。 ・書間文彦(2011)『基礎コース 金融論第3版』、新世社、ISBN 978-4883841691。 ・前多康男・鹿野嘉昭・酒井良清(2006)『金融論をつかむ』、有斐閣、ISBN 4-641-17701-5。				
関連科目	経済学入門、マクロ経済学、ミクロ経済学				

授業の目的	本講義は、金融論の入門的な内容について講義することを通じて、(1)金融の定義、金融取引の意義や金融市場の基本的な構造を理解すること、(2)金融理論の重要な基礎概念である「現在価値」、「リスク」を理解し、債券や株式などの金融資産の金利や価格がどのようにして決定されるのかについて論理的に説明できること、(3)金融機関の業務内容とその役割を理解すること、(4)金融政策について基礎的な理解を身につけることを主な目的とします。
授業の概要	本講義では、金融・金融取引・金融システムに関する基礎的な概念を説明した上、日本の金融構造の歴史的変遷を概観します。その後は、証券市場論、企業金融論、金融仲介論、金融政策論の4つの部に分けて、それぞれの基礎について学習していきます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： ガイダンス 講義の目的や学習の進め方などについて説明します。	授業内容の復習と配布プリント「1章. 貨幣と金融」による予習を行ってください(1時間)。
第 2 週 ： 貨幣と金融 貨幣の定義と機能、金融の基本的機能について説明します。	授業内容を復習し、配布プリント「1章. 貨幣と金融」の練習問題を解いておいてください(1時間)。練習問題の解答について、次の授業で解説します。 配布プリント「2章.日本の金融システム」による予習を行ってください(1時間)。

第 3 週 ： 資金循環と金融構造 資金循環と金融構造の歴史的変遷を説明するについて説明します。	授業内容を復習し、配布プリント「2章.日本の金融システム」の練習問題を解いておいてください（1時間）。練習問題の解答について、次の授業で解説します。 配布プリント「3章.証券市場論」による予習を行ってください（1時間）。
第 4 週 ： 利子率と資産価格 利子率、またそれに関連する重要な諸概念を解説します。	授業内容を復習し、配布プリント「3章.証券市場論」の練習問題3-1を解いておいてください（1時間）。練習問題の解答について、次の授業で解説します。 配布プリント「3章.証券市場論」による予習を行ってください（1時間）。
第 5 週 ： 金融市場① 債券市場と債券価格の決定について説明します。	授業内容を復習し、配布プリント「3章.証券市場論」の練習問題3-2を解いておいてください（1時間）。練習問題の解答について、次の授業で解説します。 配布プリント「3章.証券市場論」による予習を行ってください（1時間）。
第 6 週 ： 金融市場② 株式市場と株価の決定理論について説明します。	授業内容を復習し、配布プリント「3章.証券市場論」の練習問題3-3を解いておいてください（1時間）。練習問題の解答について、次の授業で解説します。 配布プリント「4章.企業金融論」による予習を行ってください（1時間）。
第 7 週 ： 企業金融①	授業内容を復習し、配布プリント「4章.企業金融論」の練習問題4-1を解いておいてください（1時間）。練習問題の解答について、次の授業で解説します。 配布プリント「4章.企業金融論」による予習を行ってください（1時間）。

企業の目的と金融行動について説明します。	
第 8 週 ： 企業金融② 設備投資の決定理論（投資の限界効率理論）について説明します。	授業内容を復習し、配布プリント「4章.企業金融論」の練習問題4-2を解いておいてください（1時間）。練習問題の解答について、次の授業で解説します。 配布プリント「5章.金融仲介論」による予習を行ってください（1時間）。
第 9 週 ： 金融機関① 金融機関の種類と機能について説明します。	授業内容を復習し、配布プリント「5章.金融仲介論」の練習問題5-1を解いておいてください（1時間）。練習問題の解答について、次の授業で解説します。 配布プリント「5章.金融仲介論」による予習を行ってください（1時間）。
第10週 ： 金融機関② 銀行の情報生産機能とメインバンク制について説明します。	授業内容を復習し、配布プリント「5章.金融仲介論」の練習問題5-2を解いておいてください（1時間）。練習問題の解答について、次の授業で解説します。 配布プリント「5章.金融仲介論」による予習を行ってください（1時間）。
第11週 ： 金融政策① 銀行の信用創造とマネーサプライについて説明します。	授業内容を復習し、配布プリント「5章.金融仲介論」の練習問題5-3を解いておいてください（1時間）。練習問題の解答について、次の授業で解説します。 配布プリント「6章.金融政策論」による予習を行ってください（1時間）。

第12週： 金融政策② 金融政策の目的と運営方法について説明します。	授業内容を復習し、配布プリント「6章.金融政策論」の練習問題6-1を解いておいてください（1時間）。練習問題の解答について、次の授業で解説します。 配布プリント「6章.金融政策論」による予習を行ってください（1時間）。
第13週： 金融政策③ IS-LMモデルを用いた金融政策効果の分析について解説します。	授業内容を復習し、配布プリント「6章.金融政策論」の練習問題6-2を解いておいてください（1時間）。練習問題の解答について、次の授業で解説します。 配布プリント「6章.金融政策論」による予習を行ってください（1時間）。
第14週： 金融政策④ 近年における日本の金融政策運営について説明します。	授業内容を復習し、配布プリント「6章.金融政策論」の練習問題6-3を解いておいてください（1時間）。練習問題の解答について、次の授業で解説します。
第15週： 総括 これまでの講義内容を復習するとともに、配布プリントにより練習問題を解き、解答解説し、より理解を深めます。	配付プリント「総括」による復習を行ってください（2時間）。
第16週： 期末試験 15回までの講義内容を試験範囲とします。試験時間は60分とします。但し、配布プリントは持ち込み不可です。	試験問題、解答例

授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考	受講生の理解度に応じて、講義スケジュールが若干変更する可能性があります。	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	新聞やニュースにおいて、金融に関わる記事等に関心を持ち、日本経済、世界経済が直面する金融面での問題を認識する。
【知識・理解】	金融取引の意義、金融市場の構造、金融機関の役割・業務などが説明できる。 日本の金融システムの歴史的変遷や特徴、近年の日本の金融政策について説明できる。
【技能・表現・コミュニケーション】	金融理論の重要な基礎概念である「現在価値」、「リスク」を理解し、債券や株式などのリスク・リターンが計算できる。
【思考・判断・創造】	IS-LM分析の枠組みを用いて金融政策の効果を考察することができる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		**5点**	**5点**	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**80点**			
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		**5点**		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		**5点**		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等（提出物）	定期試験のウェイトは高くなりますが、練習問題や課題の優劣で加点することがあります。
発表・その他（無形成果）	授業のなかで適宜質問や練習問題を解き、解答解説を行います。優れた解答をした学生は、記録して加点することがあります。